

コンピュータベース・テスト(CBT)に関するよくあるご質問 (改訂:2008年1月29日)

このQ&Aは、現時点でのCBT移行に関する質問に答えるものですが、さらに質問がある場合は、(社)日本内部監査協会へお問い合わせください。

1. コンピュータベース・テスト (CBT)とは何ですか？

内部監査人協会(IIA)がここで定めるコンピュータ・ベース・テスト (CBT) とは、予め決められた専門業者のテストセンターでコンピュータを利用してIIAの既存の資格試験を行うことです。IIAが選んだのはピアソン・ヴェーです。

2. CBTへ移行され、試験が実施されるのはいつですか？

CBTへの移行時期は、2008年5月からです。試験会場及び試験日時の予約は、受験者の皆様に直接テストセンターとの間で行っていただくこととなりますので、協会としての試験日時は定めません。また、試験の予約が可能な曜日・時間帯は各テストセンターにより異なります。

3. IIAの他の資格である内部統制評価指導士(CCSA)や公認金融監査人(CFSA)試験もCBTに移行されるのでしょうか？

はい、すべての試験が**2008年5月から**CBTに移行いたします。

4. CBTへの移行に伴い、公認内部監査人(CIA)・内部統制評価指導士(CCSA)・公認金融監査人(CFSA)試験の申込方法は変わりますか？また、申込はいつからになりますか？

はい、申込方法に変更がございます。申込開始時期・申込方法などの詳細は、**2008年3月**にアメリカのIIA本部より発表される予定です。これに合わせて、日本での申込開始時期や申込方法の詳細を、**(社)日本内部監査協会のホームページにてご案内する予定です。**

5. 試験申込や受験日時の方法はどうなりますか？

申込にあたって、受験者は必要書類を(社)日本内部監査協会に提出し、試験の予約に関する指示を受けなければなりません。CBTの移行後は、予約に関する指示に従い、受験者の皆様各自が、試験会場及び試験日時をテストセンターへ予約します(テストセンターの予約は先着順となります)。早く申込んだ受験者は希望通りの日時ならびにテストセンターで受験できる可能性が高くなります。事前申込なしに直接テストセンターに行っても受験はできません。(申込方法は、IIAの各支部・国により異なる場合があります。)

6. 試験の申込書類はどこから入手できますか？

各試験申込書は、受験申込手続の詳細が決まっておきませんので、**現在準備中です。2008年3月にIIA本部からの連絡があり次第、(社)日本内部監査協会のホームページにて掲載予定です。**

7. 受験者は現行の紙ベースの試験形式と CBT のどちらかから選べるのですか？

いいえ、2008 年から IIA の試験はすべてコンピュータベースの形式のみになり、他の受験方法では受験できません。紙ベースでの試験は 2007 年 11 月 14 日、15 日までとなり、**CBT への移行後、紙ベースでの試験は実施いたしません。**

8. IIA はなぜ紙ベースのテストから CBT に変更するのですか？

CBT の導入によって、IIA は有効で信頼性のある試験プロセスの提供をより確かなものにします。さらに、受験者には以下のようなメリットがあります。

- より頻繁にテストが実施される
- 受験者にとって都合の良い日時や場所が選べる
- より早く試験結果が得られる
- 試験に最も集中できるよう外部の騒音を遮断した専門的なテスト施設で受験できる
- 信頼性と一貫性のあるテスト施設で受験できる
- 問題用紙から解答用紙への答えの転記ミスというリスクが削減される

9. テストセンターどこにありますか？

試験は世界中にあるピアソン・ヴューのテストセンターで行われます。現在、世界で約 250 カ所あるテストセンターは約 400 カ所に増える予定です。**テストセンターの詳細は、2008年3月に、IIA本部より発表される申込手続と合わせて発表される予定です。日本におけるテストセンターの詳細は、IIA本部からの連絡があり次第、(社)日本内部監査協会のホームページにて掲載する予定です。**

10. 受験者は IIA の資格試験をインターネットで受験できますか？

いいえ、監督者のいる環境でなければ IIA の試験の高い安全性と完全性を保証することはできません。したがって、公認内部監査人(CIA)をはじめとする IIA の資格試験は、世界中のピアソン・ヴューのテストセンターでのみ受験が可能となります。

11. CBT 受験をするためにはどのようなコンピュータの知識・技術が必要でしょうか？

受験者にはマウスとキーボードの操作に慣れている必要があります。また、電卓機能が使えることも必要です。テスト開始前に、テストセンターで短時間の指導を受けることが可能です。また、テスト開始前にオンラインでの説明もあります。受験者が電卓を持ち込むことはできなくなります。電卓はピアソン・ヴューのテストセンターで用意されるか、コンピュータの電卓機能を使用するかのどちらかになります。

12. 出題形式はどのようなものですか？

現在と同様、4 つの選択肢から 1 つを選ぶ(4 択)方式です。

13. CBTに伴い受験費用は変わりますか？

試 験		受験料	
		一般	大学／大学院の教員・学生 (初回受験時のみ)
公認内部監査人 (CIA)	登録料 (初回受験時のみ)	¥ 8,400	¥4,200
	各 Part 受験料 / Part IV 試験免除の場合の管理費	¥ 17,850	¥11,550
内部統制評価指導士 (CCSA)	登録料 (初回受験時のみ)	¥ 6,300	
	受験料	¥ 33,600	
公認金融監査人 (CFSA)	登録料 (初回受験時のみ)	¥ 6,300	
	受験料	¥ 33,600	

(※費用は国により異なる場合があります。)

※ 2008年3月卒業 (見込を含む) の方へ ～学生受験料 (初回のみ)の適用について～

CBT(コンピュータ・ベース・テスト)の導入において、当初予定していた試験開始時期が、2008年2月から2008年5月に変更になったことに伴う特別措置です。

申込パート数(1Part、又は複数 Part)にかかわらず、2008年6月末日までの初回申込時に限り、優遇受験料の適用対象となります。申込されたパートの受験有効期間は、申込時から半年間になります。

尚、全パート合格された後、CIA として認定されるためには、2年以上の実務経験が必要になります。

- 対象となる方 ……………2008年3月卒業の方
- 特別措置の申込期間 ……申込開始日 ～ 2008年6月末日 (申込開始日など、CBTの詳細は3月にホームページに掲載予定です。)

14. 受験費用が上がるのはなぜですか？

より高い安全性とサービスを提供するために CBT の専門業者と契約し、これにより追加的な費用が発生しました。受験者には以前より柔軟性のあるスケジュールを組むことができる、結果を早く得られる、より安全な環境で試験が受けられるなどのメリットがあります。

15. 受験者が過去に公認内部監査人(CIA)試験を受験して Part 合格している場合、それらはそのまま合格として扱われますか？

2008年1月以前に合格した Part はそのまま Part 合格として扱われ、残りの Part を CBT で受験することになります。以下で説明する Part 合格の有効期間の条件が適用されます。

16. 試験に不合格となった場合、再受験に関する IIA の規定を教えてください。

受験者は、公認内部監査人(CIA)試験の各 Part、内部統制評価指導士(CCSA)、公認金融監査人(CFSA)試験を受験した日から **90 日以降に受験することができます。受験した翌日等、すぐに受験することは出来ません。**

17. CBT への変更に伴い公認内部監査人(CIA)の Part 合格の有効期間に変更はありますか？ また、公認内部監査人(CIA)・内部統制評価指導士(CCSA)・公認金融監査人(CFSA)試験の登録において、有効期限の変更はありますか？

公認内部監査人(CIA)試験における合格 Part の有効期限に変更はありません。各 Part の合格については、1Part 以上合格後、2 年以内に他の Part を受験しなければ、既に合格した Part は無効となります。しかし、この間に受験した場合は、先に合格した Part については、最後に受験した日から更に 2 年間の猶予が与えられます。

また、公認内部監査人(CIA)・内部統制評価指導士(CCSA)・公認金融監査人(CFSA)試験の受験者には、最初に受験申し込みが承認され受験した日から、試験登録として 2 年間の有効期間が与えられます。さらに、受験する毎に、受験者の有効期間は最終受験日から 2 年間延長されます。受験者が試験を 2 年以上受験しない場合、有効期間は終了します。有効期間が終了した場合、受験者は再度登録料と受験料を支払って受験することになります。有効期間内であれば登録料を再度支払う必要はありません。

18. 試験に不合格となった場合、再受験に関する IIA の規定を教えてください。

受験者は、公認内部監査人(CIA)試験の各 Part、内部統制評価指導士(CCSA)、公認金融監査人(CFSA)試験を受験した日から **90 日以降に受験することができます。受験した翌日等、すぐに受験することは出来ません。**

19. 公認内部監査人(CIA)の Part IV の試験免除対象資格は変更されますか？

いいえ、CBT への変更に伴い Part IV の試験免除対象資格が変更されることはありません。対象資格を保持している方は、指定の手続きをとることにより Part IV の受験が免除されます。

20. CBT は紙ベースのテストより時間がかかりますか？

経験的には、CBT は紙ベースのテストより時間が少なくすむようです。問題用紙や解答用紙の取り扱いも不要であり、答えを解答用紙に転記する必要もないからです。

21. CBT に伴い合格基準は変更されますか？

いいえ、合格基準に変更はありません。

22. 試験時間は何時間ですか？

公認内部監査人(CIA) 試験:試験時間は各 Part2 時間 45 分ずつです。受験者がコンピュータの操作説明をオンライン上で受ける時間と試験後のアンケートに回答する時間も含むと、試験時間は各 Part とも 3 時間となります。内部統制評価指導士(CCSA)と公認金融監査人(CFSA) 試験: 両試験とも試験時間は 3 時間 15 分です。受験者がコンピュータの操作説明をオンライン上で受ける時間と試験後のアンケートに回答する時間も含むと、試験時間は 3 時間 30 分となります。

23. 各試験の問題数は何問ですか？

試験	問題数	試験時間
公認内部監査人(CIA) 全 4Part とも	100 問ずつ	2 時間 45 分
内部統制評価指導士(CCSA)	125 問	3 時間 15 分
公認金融監査人(CFSA)	125 問	3 時間 15 分

24. 出題内容は変わりますか？

公認内部監査人(CIA)、内部統制評価指導士(CCSA)、公認金融監査人(CFSA) 試験とも、出題内容に変更はありません。試験問題数は減りますが、CBT になっても出題範囲は現行の試験と同じトピックからです。

25. CBT で受験できるのはどんな言語ですか？

CBT で受験できるのは現行の紙ベースの試験で受験できる言語と同じです。日本のテストセンターでは、日本語または英語での受験が可能です。

26. CBT を受ける際、受験者は既に答えた問題に戻って見直しをしたり、答えを変更することはできますか？

はい、試験時間中ならどの問題にも移れます。受験者は既に答えた問題に戻って見直しをすることも、答えを変更することもできます。ただし、一旦試験を終了した場合、または与えられた試験時間を過ぎた場合は、試験問題にアクセスすることはできません。

27. 公認内部監査人(CIA) 試験では4つのPartを同時に申込をしなければいけませんか？

いいえ。受験者は紙ベースの試験の時と同様に、4つのすべてのPartを申込することもできますし、1つのPartのみを申込することもできます。

❖ CBT についてのお問い合わせ: (社)日本内部監査協会(IIA-Japan) CIA 資格試験係
TEL 03-6214-2232(直通)